

令和6年度 病院構造改革推進方策
点検・評価（案）

本資料は案のため、数値等は実際のものではありません。

令和7年9月
病院局

本資料は案のため、文章等は実際のものではありません。

●病院構造改革推進方策の概要

策定時期	令和6年3月	
対象期間	令和6年度～令和10年度	
対象となる病院	県立尼崎総合医療センター	尼崎市 ・ 730床
	県立西宮病院	西宮市 ・ 400床
	県立加古川医療センター	加古川市 ・ 353床
	県立はりま姫路総合医療センター	姫路市 ・ 736床
	県立丹波医療センター	丹波市 ・ 320床
	県立淡路医療センター	洲本市 ・ 441床
	県立こころの医療センター	神戸市 ・ 462床
	県立こども病院	神戸市 ・ 290床
	県立がんセンター	明石市 ・ 360床
	県立粒子線医療センター	たつの市 ・ 50床
	県立粒子線医療センター附属神戸陽子線センター	神戸市 ・ 無床
	県立災害医療センター	神戸市 ・ 30床
	県立リハビリテーション中央病院	神戸市 ・ 520床
県立リハビリテーション西播磨病院	たつの市 ・ 100床	

●点検・評価の基準（計画目標）

評価	基準	
S	目標値に対して120%以上達成	達成
A	目標値に対して100%以上、120%未満の達成	
B	目標値に対して50%以上、100%未満の達成	未達成
C	目標値に対して50%未満の達成	

●令和6年度計画に対する点検・評価総評（病院構造改革委員会）

実施計画においては、23項目のうち12項目がA評価、4項目がS評価となり、令和6年度における第5次病院構造改革推進方策は概ね進められているものと評価しますが、病院事業全体の経営状況は、人件費の増加等により大幅に悪化していることから、令和6年度に経営対策委員会で検討された経営改善策についての取組を早期に実施し、経営の効率化・安定化を図る必要があります。

第5次病院構造改革推進方策については、令和6年度が計画初年度となるため、令和7年度以降も計画達成を目指すとともに、今後も基本理念である「県民と地域から信頼され安心できる県立病院」の達成に向け、持続可能な病院運営を図られることを期待します。

本資料は案のため、数値等は実際のものではありません。

計画目標	総合評価	計画目標数	目標達成率	各計画目標評価結果				(参考) 前年度 目標達成率	掲載ページ
				S	A	B	C		
合計	B	122	63.9%	17	61	20	15	61.8%	
1 医療の質の更なる向上	B	69	68.1%	7	40	11	7	63.8%	1
(1) 診療機能の高度化	A	2	100.0%	1	1			100.0%	2
・がん医療	A	10	100.0%	1	8	1	0	60.0%	3
・循環器疾患医療	B	7	85.7%		6	1		85.7%	4
・糖尿病医療	C	3	33.3%		1	1	1	33.3%	5
・精神医療	C	4	25.0%		1	1	1	25.0%	6
・救急・災害医療	C	5	40.0%	1	1	1	1	40.0%	7
・小児・周産期医療	C	6	50.0%	2	1	1	1	50.0%	8
・へき地医療	A	2	100.0%	1	1			100.0%	9
・新興感染症等医療	C	5	40.0%	1	1	1	1	40.0%	10
・リハビリテーション医療	C	3	33.3%		1	1	1	33.3%	11
・臨床研究	B	7	85.7%		6	1		85.7%	12
(2) 機能分化・連携強化	B	8	75.0%		6	1	1	75.0%	13
(3) 診療の効率化と安全な医療の両立	B	7	85.7%		6	1		85.7%	14
2 変革する医療への的確な対応	C	8	50.0%	1	3	2	2	50.0%	15
(1) 地域医療構想・地域包括ケアシステムへの対応	B	3	66.7%	1	1		1	66.7%	16
(2) 平時を含む新興感染症等への対応	C	3	33.3%		1	1	1	33.3%	17
(3) 病院DXの戦略的展開	C	2	50.0%		1	1		50.0%	18
3 収支構造の最適化	B	27	66.7%	7	11	3	3	67.9%	19
(1) 抜本的な経営改革に係る取組	B	21	71.4%	5	10	2	2	71.4%	20
(2) 適正な設備投資・施設管理	C	6	50.0%	2	1	1	1	50.0%	21
4 運営基盤の強化	C	18	50.0%	2	7	4	3	50.0%	23
(1) 医師・看護師等の県立病院を支える医療人材の確保・育成	B	9	55.6%	1	4	2	1	55.6%	24
(2) 働き方改革の推進	C	3	33.3%		1	1	1	33.3%	25
(3) 患者満足度の向上	C	5	40.0%	1	1	1	1	40.0%	26
(4) 相応しい経営形態の検討	A	1	100.0%		1			100.0%	27

本資料は案のため、数値等は実際のものではありません。

1 医療の質の更なる向上 (1) 診療機能の高度化(がん医療)

基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 各病院は、「兵庫県保健医療計画」「兵庫県がん対策推進計画」で定められる役割及び地域の医療提供体制を踏まえ、関係機関と連携しながら、集学的治療や緩和ケアの提供等、高度専門的かつ各患者に最適ながん医療を提供する。 がん診療連携拠点病院は、人材育成や相談支援等の機能強化に取り組む。 がんゲノム医療拠点病院等において、ゲノム医療を推進する。 	自己評価
自己評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナによる受診控えの解消傾向や、地域の医療機関への積極的な訪問などから、がん手術件数や外来化学療法の件数等が増加しており、概ね計画を上回り達成することができた。 	A

● 計画目標(定量)

No	計画目標	前年度実績	R6計画	R6実績	達成率	評価
計-1	院内がん登録数(件)	11,422	11,315	11,797	104.3%	A
計-2	がん手術総件数(延件)	7,172	6,977	7,538	108.0%	A
計-3	化学療法延患者数(延人)	28,242	39,925	39,983	100.1%	A
計-4	放射線治療延患者数(延人)	25,844	25,933	25,496	98.3%	B
計-5	緩和ケアチーム新規介入患者数	1,179	1,117	1,210	108.3%	A
計-6	キャンサーボード実施回数(回)	607	580	580	100.0%	A
計-7	がん相談件数(延件)	6,763	7,011	7,020	100.1%	A

● 計画目標(定性)

No	計画目標・評価理由	活動指標	評価
計性-1	<p>計画目標 各病院は、高度専門的かつ各患者に最適ながん医療の提供のため、地域連携パス(がん)の活用等により、関係機関と連携しながら、手術療法、薬物療法、放射線療法等を組み合わせた集学的治療や緩和ケアを実施する。</p> <p>評価理由 ・活動指標について7項目中5項目で前年度実績を上回る結果となった。(活-7~9,活-個-1~3) ・希少がんセンターを開設し、高度専門的かつ各患者に最適ながん医療の提供体制を強化した。(●●病院)</p>	活-1 活-7 活-8 活-9 活-個-1 活-個-2 活-個-3	A
計性-2	<p>計画目標 がん診療連携拠点病院等は、研修会等を開催し、人材育成や相談支援等の機能強化に取り組む。</p> <p>評価理由 ・研修会等をほぼコロナ前の水準で開催することができた。(活-2~4)</p>	活-2 活-3 活-4	A
計性-3	<p>計画目標 がんゲノム医療拠点病院及びがんゲノム医療連携病院は遺伝子パネル検査の実施に積極的に取り組み、ゲノム医療を推進する。</p> <p>評価理由 ・積極的な広報活動の結果、活動指標について全て前年度実績を上回る結果となった。</p>	活-5 活-6	S

本資料は案のため、数値等は実際のものではありません。

●計画目標の未達成（B・C）の要因と改善に向けた取組

計-6	B	対象となる粒子線治療患者の減少	認知度を向上させる取組として、粒子線・神戸陽子で施設見学会を行う
-----	---	-----------------	----------------------------------

●活動指標

No	活動指標	前年度実績	R6年度実績
活-1	地域連携パス(がん)運用件数(延件)	929	1,001
活-2	協議会、研修会等の開催回数(都道府県がん診療連携拠点病院)(回)	24	30
活-3	セミナー・研修会等の開催回数(地域がん診療連携拠点病院)(回)	24	23
活-4	緩和ケア研修会出席者数(人)	131	168
活-5	遺伝子パネル検査実施件数(件)	144	180
活-6	がんゲノム外来患者数(人)	158	190
活-7	粒子線治療実施患者数(人)	314	332
活-8	陽子線治療実施患者数:成人(人)	192	202
活-9	陽子線治療実施患者数:小児(人)	53	54
活-個-1	がん手術件数のうち5大がんの手術件数(件)	3,637	3,475
活-個-2	粒子線治療患者における「肝臓・膵臓・頭頸部がん」患者の割合(%)	42.4	41.6

本資料は案のため、数値等は実際のものではありません。

各病院の取組・指標 () ●●医療センター

役割、機能、 目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・地域完結型医療の推進・充実のため、阪神圏域の医療や介護全体と連携・調整しながら、政策医療に加え、質の高い高度急性期・高度専門・先端医療を担うとともに、質の向上と維持を担保するための研修・教育・研究分野に積極的に取組む。 ・職員全員が当事者意識と病院全体の視野を合わせ持ち、柔軟な発想力のある病院の組織運営に取り組む。 ・職員が「働きたい病院」「働きやすい病院」「働き甲斐のある病院」を目指す。 ・高度医療の充実、PFMの充実、医療安全の確保や職場環境、職員の接遇、医療DX等の様々な局面における質的な面において一層の充実を図る。 ・災害拠点病院として、大規模災害発生時に傷病者の受け入れ、医療救護班やDMATの派遣を行う。
----------------	--

●計画目標(定量)

項目	No	計画目標	前年度実績	R6計画	R6実績	達成率	評価
1(1)① 診療機能の 高度化 がん医療	計-1	院内がん登録数(件)	2,522	2,500	2,678	107.1%	A
	計-2	がん手術総件数(延件)	1,463	1,470	1,541	104.8%	A
	計-3	化学療法延患者数(延人)	11,366	11,489	12,204	106.2%	A
	計-4	放射線治療延患者数(延人)	9,826	9,309	8,771	94.2%	B
	計-5	緩和ケアチーム新規介入患者数	253	235	250	106.4%	A
	計-7	がん相談件数(延件)	400	420	428	101.9%	A
1(1)② 循環器医療	計-8	経皮的冠動脈インターベンション(PCI)実施件数(延件)	519	526	538	102.3%	A
	計-9	虚血性心疾患に対する心臓血管外科手術件数(延件)	14	19	26	136.8%	S
	計-10	脳動脈瘤クリッピング術実施件数(延件)	17	18	19	105.6%	A
	計-11	脳動脈瘤コイル塞栓術実施件数(延件)	25	18	22	122.2%	S
	計-12	t-PAIによる血栓溶解法実施件数(延件)	27	30	21	70.0%	B
	計-13	脳血管内治療(経皮的脳血栓回収療法等)実施件数(延件)	33	27	37	137.0%	S
1(1)③ 糖尿病医療	計-14	糖尿病新規入院患者数(延人)	282	232	287	123.7%	S
	計-15	糖尿病医教育入院の実患者数(延人)	144	140	142	101.4%	A
1(1)⑤ 救急・災害 医療	計-17	救急車搬送患者数(人)	13,175	13,300	13,436	101.0%	A
	計-18	うち重篤患者数(高度救命救急センター及び救命救急センター)(人)	1,688	1,667	1,702	102.1%	A
1(1)⑥ 小児・周産 期医療	計-19	小児の救急車搬送患者数(人)	3,273	3,184	3,708	116.5%	A
	計-20	ハイリスク妊婦受入人数(人)	268	247	305	123.5%	S
	計-21	母胎搬送受入人数(人)	52	79	80	101.3%	A
	計-22	2,500g未満の新生児実入院患者数(人)	228	230	256	111.3%	A
	計-23	新生児の搬送受入総数(人)	64	63	44	69.8%	B
1(1)⑧ 臨床研究	計-25	受託研究の件数(延件)	141	140	142	101.4%	A
	計-26	治験の件数(延件)	38	35	39	111.4%	A
1(2) 機能分化・ 連携強化	計-27	紹介率(%)	76.7	76.7	77.6	101.2%	A
	計-28	逆紹介率(%)	101.4	100.0	100.0	100.0%	A
1(3) 診療の効率 化と安全な 医療の両立	計-29	クリニカルパス適用率(%)	70.8	70.0	71.7	102.4%	A
	計-30	PFMアセスメント率(%)	73.6	75.0	83.2	110.9%	A

本資料は案のため、数値等は実際のものではありません。

●計画目標(定量)(抜本的な経営改革に係る取組)

項目	No	計画目標	前年度実績	R6計画	R6実績	達成率	評価
3(1) 抜本的な経営改革に係る取組	計-31	経常損益(百万円)	▲ 1,576	514	▲ 2,305	-448.4%	C
	計-32	経常収支比率(%)	96.0	101.3	94.5	93.3%	B
	計-33	医業収支比率(%)	86.1	91.8	85.6	93.2%	B
	計-34	(参考)修正医業収支比率(%)	85.1	90.8	84.6	93.2%	B
	計-35	病床稼働率(%)	87.9	92.9	88.3	95.0%	B
	計-36	1日あたり入院患者数(人)	642	678	644	95.0%	B
	計-37	1日あたり外来患者数(人)	1,837	1,837	1,816	98.9%	B
	計-38	入院単価(円)	99,317	101,233	105,009	103.7%	A
	計-39	外来単価(円)	20,424	21,845	22,651	103.7%	A
	計-40	給与費比率(%)	56.5	52.2	57.9	90.2%	B
	計-41	材料費比率(%)	38.0	35.2	37.7	93.4%	B
	計-42	うち薬品費比率(%)	21.2	18.9	19.6	96.4%	B
	計-43	うち診療材料費比率(%)	16.1	15.6	17.4	89.7%	B
	計-44	経費比率(%)	16.2	16.2	16.1	100.6%	A

●計画目標の未達成(B・C)の要因と改善に向けた取組

No	評価	要因	改善に向けた取組
計-4	B	照射方法の変更(照射回数の減)による減	実態に合わせた計画値設定の見直し
計-12	B	血栓回収療法への移行による減	次年度以降、「血栓回収療法」の実施件数も合わせた数値を計画目標とする
計-23	B	出生数の低下に伴う対象患者数の減	今後も出生数の減少は続くとの前提で、小児・周産期医療の将来的なあり方について検討を行う
計-31	C	経常収益の減 ①DPC入院期間Ⅲ期Ⅲ期越えの縮減及び、平均在院日数の短縮により、入院単価は増加するも、短縮した日数以上の新規入院患者数を確保できず、稼働率が低下 ②外来化学療法の実施により、外来単価は増加するも、紹介患者数の減少により、外来患者数は減少 経常費用の増 ①人事委員会勧告を踏まえた給与改定による給与費の増 ②物価高騰等の影響による材料費の増	令和7年度の追加収支改善策として、以下の収益増加対策等に取り組む ・広報強化による入院患者の受入れ推進 ・リハビリテーション体制の充実 ・適切な室料差額の徴収 ・インセンティブによる診療材料の切替え促進
計-32	B		
計-33	B		
計-34	B		
計-35	B		
計-36	B		
計-37	B		
計-40	B		
計-41	B		
計-42	B		
計-43	B		

本資料は案のため、数値等は実際のものではありません。

●活動指標

項目	No	活動指標	前年度実績	R6年度実績
1(1)①	活-個-1	がん手術件数のうち5大がんの手術件数(件)	896	765
1(1)①	活-1	地域連携パス(がん)運用件数(延件)	177	213
1(1)①	活-3	セミナー・研修会等の開催回数(地域がん診療連携拠点病院)(回)	2	2
1(1)①	活-4	緩和ケア研修会出席者数(人)	28	48
1(1)②	活-10	地域連携パス(脳卒中)運用件数(延件)	47	86
1(1)②	活-11	心血管疾患リハビリテーション実施件数(延件)	16,835	17,514
1(1)②	活-12	脳卒中患者に対するリハビリテーション実施件数(延件)	10,880	12,291
1(1)④	活-21	ドクターカー出動件数(件)	298	313
1(1)⑤	活-26	但馬・神戸大学等遠隔医療教育ネットワークによるTVカンファレンス開催回数(回)	12	12
1(2)	活-34	医療機器の共同利用件数(延件)	862	775
1(2)	活-35	医療従事者向け研修会の実施回数(回)	1	1
1(2)	活-36	地域医療連携室等の退院調整件数(延件)	11,619	14,993
1(2)	活-37	地域連携パス会議や関係者連携会議の開催件数(回)	21	5
1(2)	活-38	訪問看護師との看看連携会議等の回数(回)	2	3
1(2)	活-個-25	阪神医療福祉情報ネットワーク(h-Anshinむこねっと)による患者共有データ件数(延人)	894	860
2(1)	活-50	認知症鑑別診断件数(延件)	214	249
3(1)	活-94	収支改善策の実施状況(百万円)【R7実施計画の点検・評価から記載】	-	212
3(1)	活-56	新規入院患者数(人)	223,390	234,767
3(1)	活-57	平均在院日数(日)	9.6	9.6
4(3)	活-89	セカンド・オピニオンの実施件数(件)	26	32
4(3)	活-90①	広報誌の発行回数(回)	12	12
4(3)	活-91①	講演会等の開催回数(回)	0	1

●参考情報：収支改善策(R7年度)【R7実施計画の点検・評価から記載】

(令和7年度点検・評価)

項目	内容	前年度実績	R7年度実績
収益増加対策	広報強化による入院患者の受入れ推進	-	21
	リハビリテーション体制の充実	-	31
	適切な室料差額の徴収	-	68
その他の取組	インセンティブによる診療材用の切替え推進	-	92
合計			212